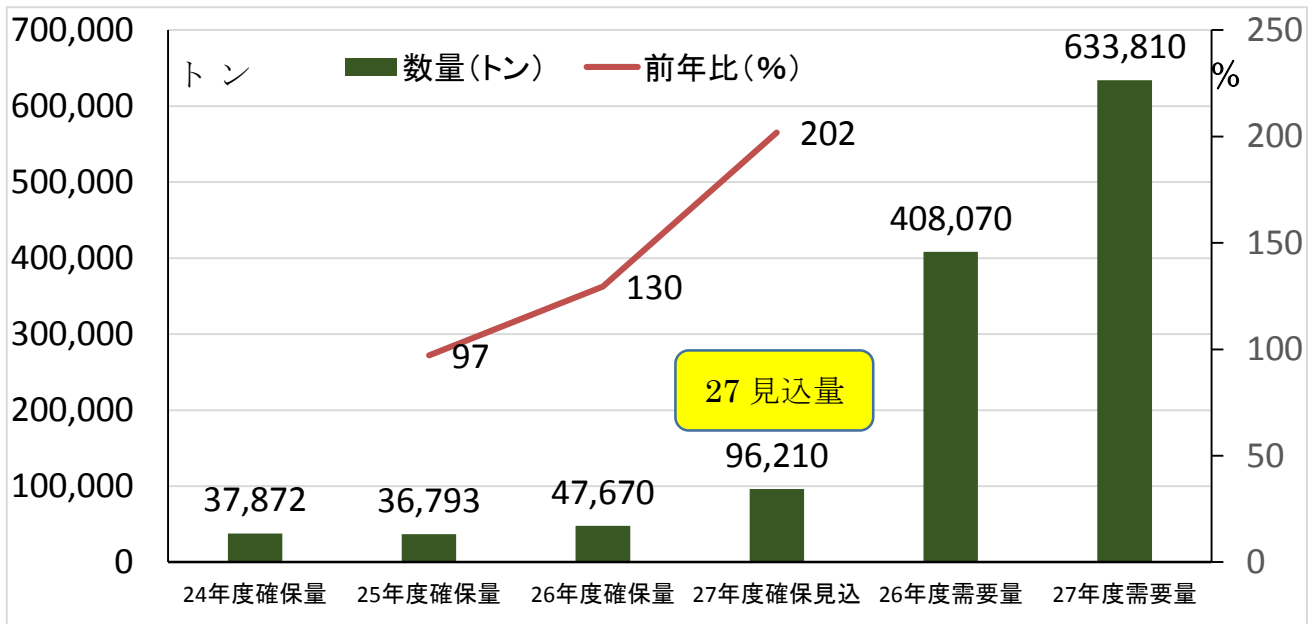


平成 27 年産飼料用米需要量等調査の結果について

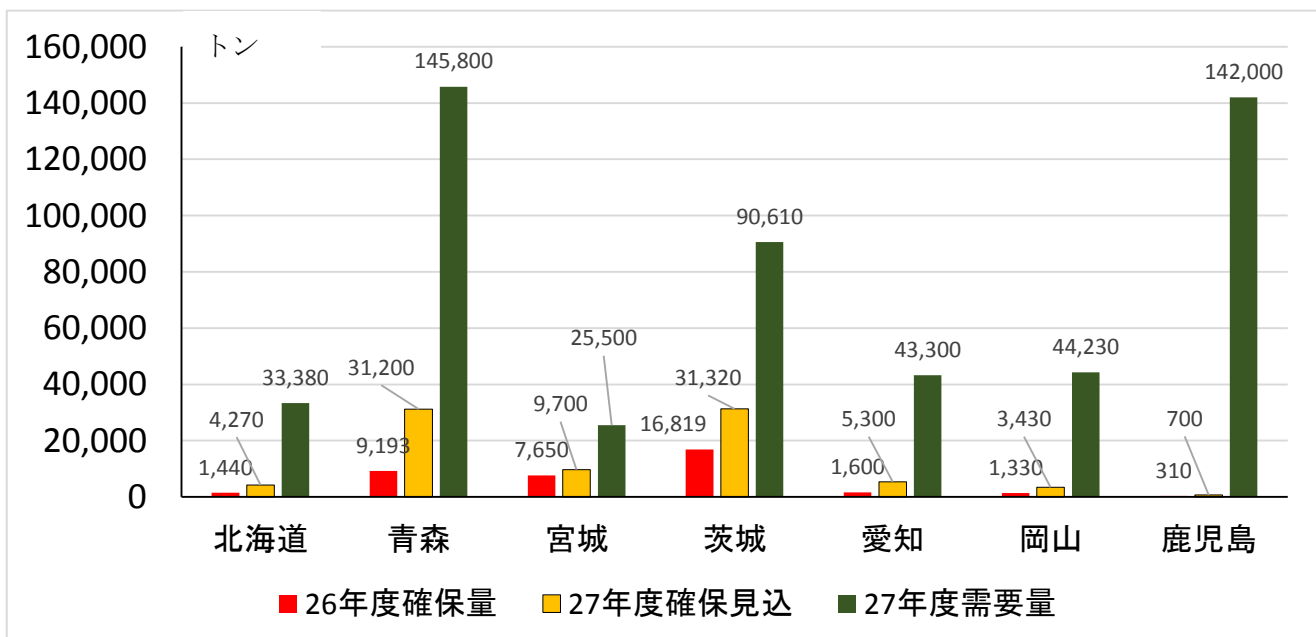
平成 27 年 5 月 8 日
協同組合 日本飼料工業会

工業会組合員工場の飼料用米確保量の推移



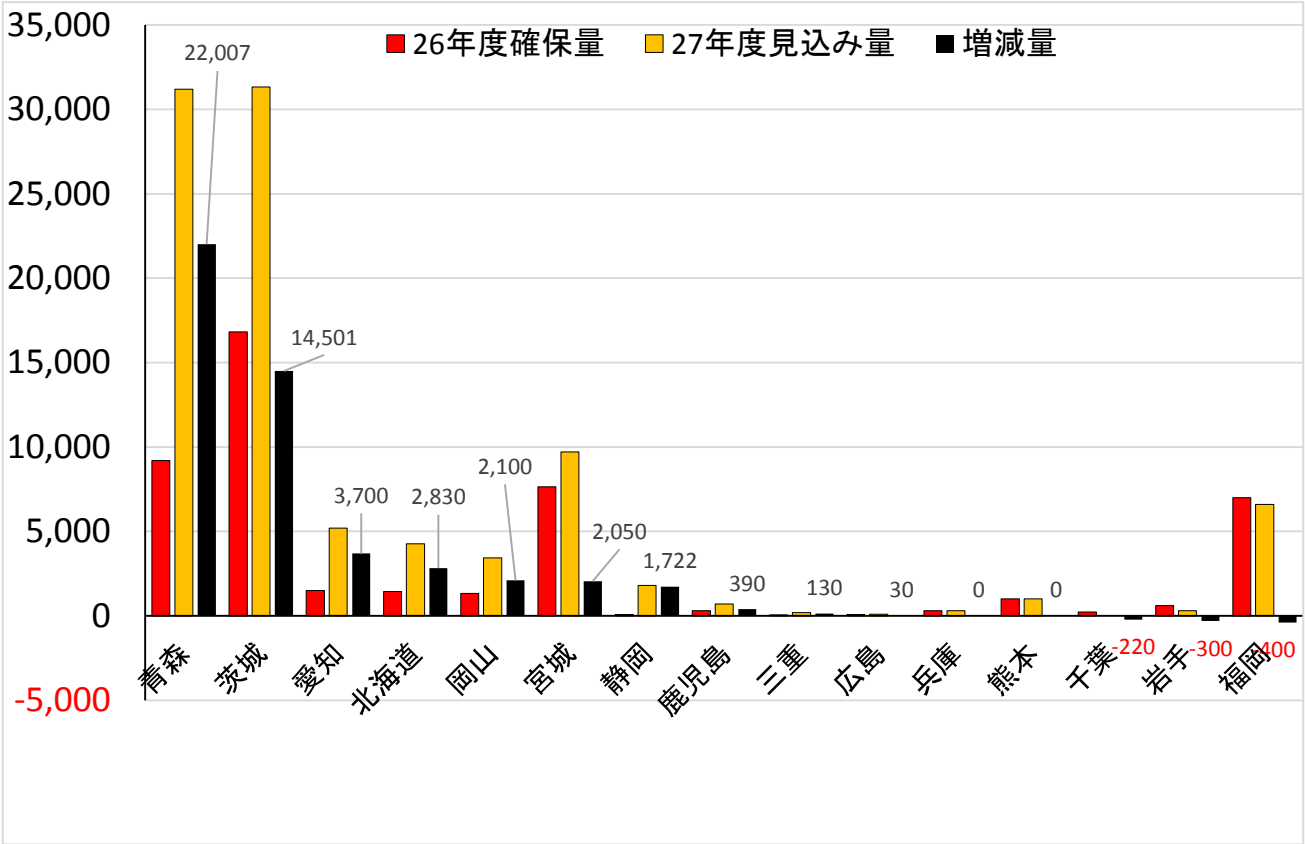
注) 26 年度の需要量は平成 26 年 3 月調査、24～25 年度の確保量は、26 年 8 月末調査による。26 年度確保量、27 年度確保見込、及び 27 年度需要量は、27 年 4 月中旬調査による。

主要地域の飼料用米確保状況と需要量

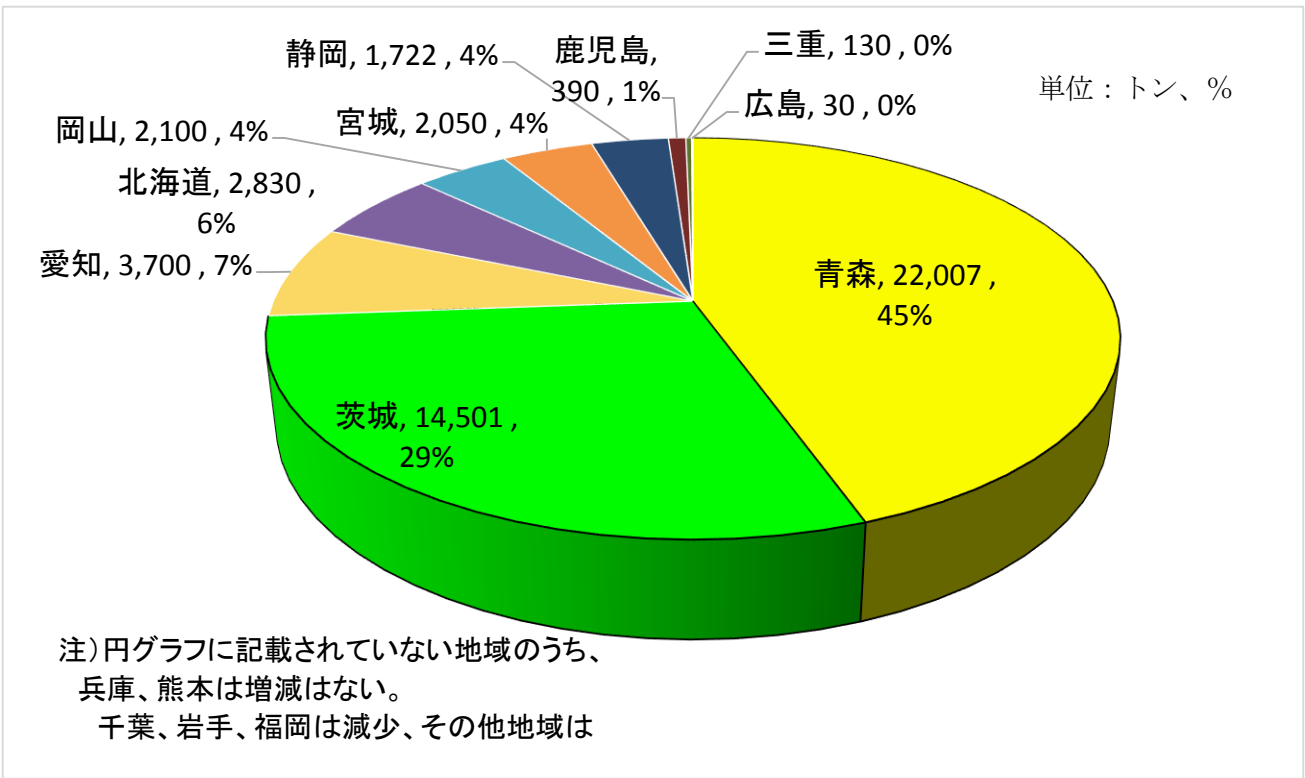


26 年度実績と 27 年度見込み量との比較

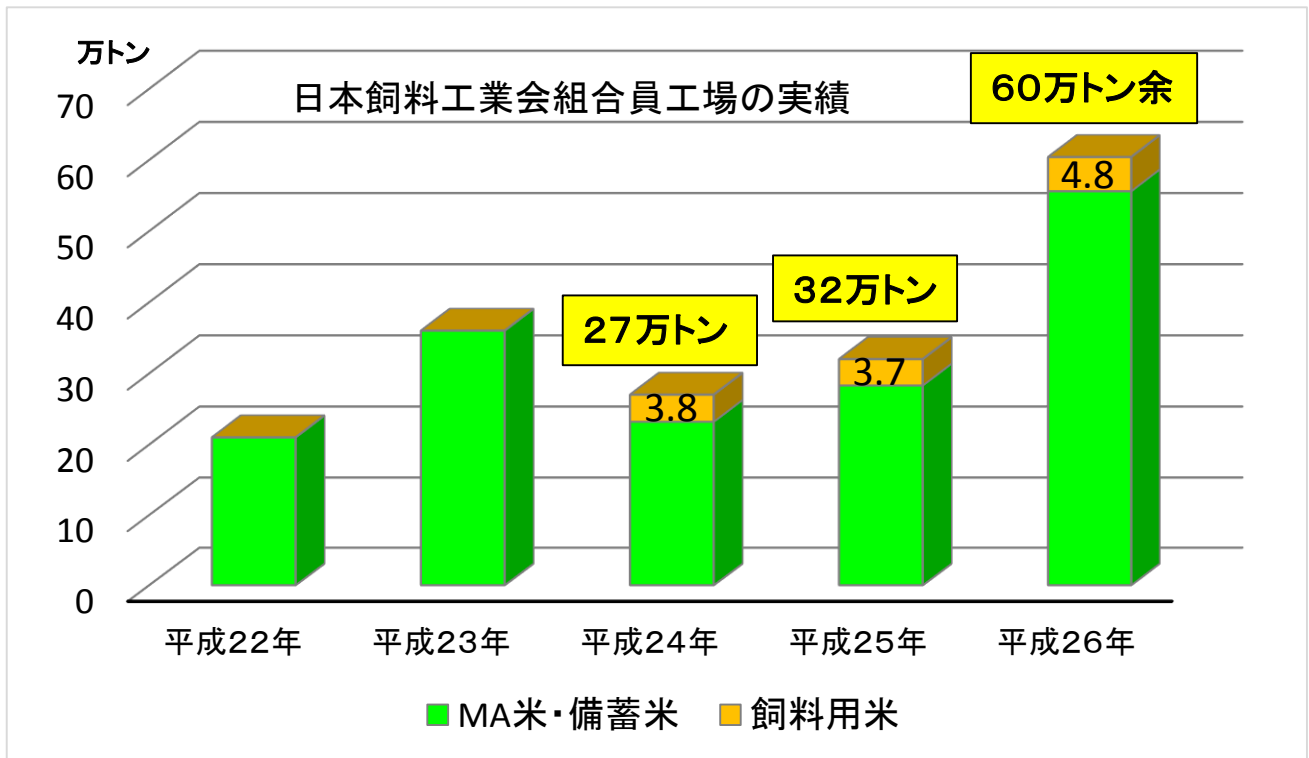
トン



26 年度実績と 27 年度見込み量との比較増加量の構成比



ミニマムアクセス米(MA米)と備蓄米を加えた米使用量実績



注) 飼料用米については、平成24年度から内訳として計上

平成26年度についてみると、飼料用米の確保量は約4.8万トンであるが、この他に、MA米、備蓄米も配合飼料の原料として使用しており、これらMA米、備蓄米、飼料用米の使用量の合計では、平成26年度は60万トンを超える実績見込みとなっている。

なお、平成27年度については、国産の飼料用米に対する需要量(希望量)だけで63.4万トンあり、平成26年度の実績等も勘案すると、MA米、備蓄米も含めた数量としては、約120万トン程度と考えられる。

ただし、主食用米の需給安定や水田の保全等を考慮すると、MA米も含めた使用量ではなく、今後とも、国内の水田で栽培された飼料用米を念頭に使用に取り組んでいくことが重要と考えられる。

以上

(問合せ先) 協同組合 日本飼料工業会 電話 03-3583-8031